

平塚市新型コロナウイルス感染症総合対策（補完版）

○総合対策の視点

- ・本市では、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）に対応するため、令和2年4月22日に「平塚市新型コロナウイルス感染症緊急対策」（以下、「緊急対策」）を策定し喫緊の課題に対応してきました。
- ・また、同年7月20日には「平塚市新型コロナウイルス感染症総合対策」（以下、「総合対策」）を策定し、感染症の第2波、第3波に備え、コロナ危機の中でも社会経済を回し続けるとともに、新たな日常の構築を見据え、本市が「選ばれるまち・住み続けるまち」となるための施策を着実に推進してきました。
- ・冬場における感染症対策に万全を期すため、更なる対策を講じつつ、地域経済を回し続けることができるよう、総合対策に位置づけた取組のうち、強化すべき取組を充実させます。
- ・また、前例踏襲に捉われず、臨機応変に対応するため、OODAループ（「観察」「状況判断」「意思決定」「行動」）を回すことで、変化する局面に応じた対策を迅速かつ的確に講じていきます。
- ・今後も、緊急対策を引き続き実施するとともに、補強した総合対策を、総力を挙げて力強く推進してまいります。

【総額約 6.4 億円】 総合対策の総計…約 3.8 億円

◇総合対策の3本の柱◇

- 1 第2波・第3波へ備えるために**
- 2 コロナ危機の中でも社会経済を回し続けるために**
- 3 ポストコロナを見据え、その先のまちづくりを進めるために**

1 第2波・第3波へ備えるために

265,487 千円

◇基本的な方向性◇

感染症や感染症の影響が長期化する中、第2波・第3波に備えて、医療・救急体制を確保するとともに、いつ起きるか分からない災害に対する備えを強化します。

◆補強の視点◆

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されることから、災害への備えと医療体制を強化するとともに、家庭における感染防止を促します。

・ 市民病院における診療体制の充実

人工呼吸器、簡易陰圧装置、体外式膜型人工肺等を配備し、診療体制を充実させるとともに、院内における感染防止を図ります。

【12月補正予算（病院会計）】

91,858（千円）

・ 医療体制の維持確保

65歳以上の高齢者に対するインフルエンザ予防接種を無償化し、新型コロナウイルスとの同時流行の防止に取り組み、医療崩壊の未然防止を図ります。

【9月補正予算】

155,733（千円）

・ 医師会におけるPCR検査体制への支援

医師会が実施するPCR検査において、警備員を配置し、引き続き安全な検査体制を維持します。

【予備費対応】

3,507（千円）

・ 避難所における感染防止

排泄物等を密閉して処理することができる自動ラップ式トイレを、市内避難施設に一台ずつ配備し、体調不良者用のトイレや感染リスクのある廃棄物の処理に活用することで、避難所における感染防止を図ります。

【既存予算】

12,889（千円）

・ 感染防止に関する意識啓発

感染防止を促す動画を作成し、バスの車内サイネージや市内商業施設、平塚市ウェブページや公式SNS（facebook、Twitter）、LINE平塚市公式アカウントで発信し、市民の感染防止に対する意識向上を図ります。

【12月補正予算】

1,500（千円）

2 コロナ危機の中でも社会経済を回し続けるために

308,593 千円

◇基本的な方向性◇

感染症と隣り合った新たな日常において、市民生活を支えるとともに、経済活動を支援します。さらに、自粛せざるを得なかった地域活動の再開を支援し、地域のつながり・絆を深める取組を進めます。

◆補強の視点◆

経済対策としてのプレミアムポイント（スターライトポイント）の短期間による完売を受け、更なるニーズに応えた消費喚起を図るとともに、市民生活を支えるための感染症対策を充実させます。

・キャッシュレス決済の普及推進

「新しい生活様式」におけるキャッシュレス化を推進するため、プレミアムポイント（スターライトポイント）を付与し、事業者や市民へのキャッシュレス決済に係る普及啓発を行います。併せて、コロナ禍における消費喚起を図り、市内経済の活性化につなげます。販売額にプレミアム率 30%を付与するとともに、ポイント販売のインセンティブとして、中小事業者には販売額の 10%をキャッシュバックします。

【既存予算（流用）】

※ 1 月 1 3 日で本事業費分のプレミアムポイントはすでに完売しました。

215,000（千円）

・成人式における感染防止

密を避けるための2部制による分散開催、感染リスクを考慮し来場できない市民に向けたオンライン配信による開催を進めるとともに、サーマルA Iカメラ（表面温度を計測するカメラ）を設置し体温把握を行うことで、成人式における感染防止を図ります。

【予備費対応】

1,090（千円）

・福祉施設における感染防止

福祉会館等にサーマルA Iカメラ（表面温度を計測するカメラ）を設置し、検温の徹底を図ります。

【12月補正予算】

1,250（千円）

・保健センターにおける感染防止

保健センターにサーマルA Iカメラ（表面温度を計測するカメラ）を設置し、検温の徹底を図るとともに、除菌機能付き空気洗浄機を設置し、感染防止を図ります。

【12月補正予算】

1,020（千円）

・子育て支援施設における感染防止

保育所（46園）にサーマルAIカメラ（表面温度を計測するカメラ）を設置し、検温の徹底を図ります。また、こども発達支援室くれよん・平塚市にここ園において、網戸設置など換気のための施設改修や、飛沫感染防止用のアクリル仕切りボードを配備するとともに、玩具等の消毒や来所者用にアルコール消毒液等購入することで、相談業務における感染防止を図ります。

【12月補正予算】

12,046（千円）

・学校教育における感染防止

医療的ケア学校看護師用のマスク、アルコール消毒液を購入するとともに、子ども教育相談センターにおいて、飛沫感染防止用のアクリル仕切りボードの配備やアルコール消毒液等を購入することで、感染防止を図ります。

【12月補正予算】

100（千円）

・修学旅行及び校外学習のキャンセル料の助成

感染症の影響を受けて中止となった修学旅行や校外学習のキャンセル料について、各校の状況に応じて補助することで、保護者の経済負担の軽減を図ります。

【12月補正予算】

78,087（千円）

3 ポストコロナを見据え、その先のまちづくりを進めるために

61,366 千円

◇基本的な方向性◇

感染症への対応を通じた経験を活かし、未来技術の導入を支援することで、まちのICT環境の向上や新たな行政サービスを進め、次のまちづくりに向けた方向性を示します。

◆補強の視点◆

高いニーズが見受けられた「キャッシュレス決済」とロボット技術や先進技術を活用した「スマート農業」への転換を更に促進するとともに、「GIGAスクール構想」を更に推進し、新たな日常の構築を目指します。

・キャッシュレス決済の普及推進【再掲】

「新しい生活様式」におけるキャッシュレス化を推進するため、プレミアムポイント（スターライトポイント）を付与し、事業者や市民へのキャッシュレス決済に係る普及啓発を行います。併せて、コロナ禍における消費喚起を図り、市内経済の活性化につなげます。販売額にプレミアム率 30%を付与するとともに、ポイント販売のインセンティブとして、中小事業者には販売額の 10%をキャッシュバックします。

【既存予算（流用）】

※11月13日で本事業費分のプレミアムポイントはすでに完売しました。

215,000（千円）

・ロボット技術や先進技術を活用した農業への支援

新型コロナウイルス感染症の影響下でも食料の安定供給や生産量の増大を図るために、認定農業者・認定新規就農者を対象に、ロボット・AI・IoT等の先進技術を活用した“スマート農業”の導入を支援し、農業経営の効率化・拡大を推進する本市農業のモデルを創出します。

※1 経営体あたり上限 1,000 万円

【12月補正予算】

54,866（千円）

・GIGAスクール構想における家庭学習の充実

GIGAスクール構想の推進によって配備されたタブレットについて、家庭学習においても有効活用できるよう貸出用のモバイルwifiルーターを650台配備し、こどもたちの学びの保障を充実させます。

【12月補正予算】

6,500（千円）